

上山の稲刈り、始まる！

9月に入り、上山の各所で稲刈りが始まりました。8月下旬に台風が来たことで、稲が倒れてしまった田んぼも多少はありましたが、それぞれの家庭で稲刈りを進められています。NPO法人英田上山棚田団で管理をしている棚田の稲刈りは9月14日からようやくスタート。棚田団は竹や木の竿に刈った稲を干す「ハゼ干し」という方法で収穫をしていきます。棚田に稲がズラッと干された景観は圧巻で、期間限定ですが可能な限りご覧いただきたいものです。イノシシやシカによる獣害、台風の影響など、憂慮される事態は種々ありますが、なんとか無事に全棚田の稲刈りが終わるようお願いを進めます。

90歳を過ぎても現役で稲を刈る！



9月号

認定NPO法人
英田上山棚田団



今月の 上山豆知識

お米の単位、知っていますか？
日本人が茶碗一杯で食べるご飯の量は約150g。炊く前のお米の量は65g。米粒数として3250粒。株数でいうとよくできた田んぼで2、3株の稲から茶碗一杯分のお米が取れます。昔から「〇〇藩100万石」といったような表現があります。これはその藩では赤ん坊から老人までひっくるめて100万人の人間を1年間食べさせられるだけの農業生産力がある、という意味なのです。では「石」は何キロのお米になるでしょうか？
(答えは裏面に)

上山神社・拝殿の床を修繕



上山神社の拝殿の床はずいぶん前からぐずぐずになっていました。一年の中でも数回しか拝殿を利用しないこともあって、毎度騙し騙し使ってきました。7月の夏祈祷の際に「いよいよ床が危ない」という話になり、坊地区の松原徹郎さんと美作市地域おこし協力隊で空地区の岡野紘子さんが8月下旬から9月上旬にかけて床の改修作業に取り掛かってくれました。畳をめぐり、板を剥がすと、湿気がすごく、やはり大引きから腐ってしまっていました。雨で外作業ができないうえ、ミシンを使っても、改修をすすめていただく、床の下地が完成。畳は既存のものを再利用したゴザを引いて、修繕作業が完了しました。今年10月の秋祭り、11月の新嘗祭と、まだまだ祭事が残っています。上山神社にお越しの際は、ぜひとも拝殿の中を見て、靴を脱いで上がってみてください！

上山×大建工業 新プロジェクト

大建工業株式会社は、大阪府大阪市北区に本社を置く、住宅用建材の大手メーカー。国産の木材チップを特殊解繊処理し、植物の生育促進効果をもつフルボ酸を添加した土壌改良材である「DWファイバー」を開発、2017年より販売されています。東日本大震災の津波被災地に築かれた植栽盛り土や、福島県南会津町の豪雨被災地の山腹治山工事など、2018年の4月までに100件以上の現場ですでに活用されています。都市部でも学校校庭の芝生敷設などに用いられています。これまでは土木工事の際の緑化が主な使用用途でしたが、土壌の改良や生育促進効果を農業分野でも活かさないか実証実験をすべく、上山でのプロジェクト発足となりました。大建工業さんと、棚田団メンバーのご縁からつながり、上山の棚田にて先述の「DWファイバー」の試験利用に取り組みむこととなりました。まずは上山の土壌を検査し、土の性質を見極めてから、ブドウなどの果樹や野菜栽培に適した土壌に改良していけないかを試し始めています。今後は、栽培する作物によって土壌を最適化し、再生した棚田の有効活用へとつなげていきます。



マルチング等、試験の様子



DWファイバー

この先の上山の集まりごと。

雲海サロン

日時:9月18日(水)12:00~
場所:雲海オフィス
参加費:500円(ランチ付き)

みんなでランチの時間を楽しみましょう! 滋賀県大津市からも上山の活動を見たいという方々が参加されます。

囲碁ボール

毎週木曜開催
(9:00~12:00)
場所:上山公会堂
気軽に覗いてみてください!

白と黒のボールの打ち合い。公会堂で熱戦が展開!

あじさいの会

日時:10月1日(火)
9:30~11:00
場所:公会堂

おしゃべりしながら体操をして、体を動かしましょう!

移動スーパー

第2・第4木曜日に集落内を回ります。

小磯さん、井上さんとのトークもお楽しみに!
お惣菜が大人気!!!

上山雲海サロン&ランチ会

8月の雲海サロンのメニューは上山の夏野菜カレー。ピーマン、ナス、カボチャ、ゴーヤなどを素揚げしてカレーに盛り付けました。見栄えも味も良く、大満足なカレーでした。食事の準備は丸山さん、須田さんが担当し、集まった参加者が徐々にお手伝いをしていきながらランチの準備が完成。その後、食事をしながら近況報告も兼ねて各自が選んだテーマごとにお話を聞いていきました。小林公子さんは「今、行きたいところ」をテーマにお話をしてくださいました。「海や山に行くのも楽しいけど、みんなが岡山市内の街中に出て、久しぶりに天満屋へ行きたい。」とのことで、次のお出かけツアーでは天満屋行きを企画することになりました。また次回以降もテーマを決めて各人いろいろとお話をしていたら予定です。



【豆知識答え】約140kg

2019年4月から上山で活動を始めた新・美作市地域おこし協力隊からのご挨拶



ひろぽん



ありさん



てるさん

岡野紘子 (おかのひろこ)

4月から地域おこし協力隊として活動させていたお話を聞かせていただきました。倉敷出身です。現在は空地区に住居をお借りしています。上山に来たきっかけは松原さん夫妻による薬草講座に参加したこと。以前から薬草に興味があり薬草を学びたいという思いと自然の中でお米や野菜を自ら作りながら暮らしていきたいという思いがあり、上山に来ることを決めました。歴史ある上山で個性ある面白い方々と一緒に棚田でお米作りができること、自然豊かな上山で薬草を摘みながら暮らしていることはとても幸せなことだと日々感じています。現在はお米作りをしながら、松原さんから薬草を学び、薬草を広めるために岡山県内のイベント等で薬草料理を出店しています。上山の歴史や、自然の中で暮らしている皆さんが培ってきた知恵など、お話を聞かせていただきたいと思います。お話を聞かせていただきたいと思います!

赤坂晃靖 (あかさかてるやす)

今年四月から地域おこし協力隊として活動してさせていただきます。赤坂晃靖と申します。狩猟に興味を持ったことをきっかけに、上山に地域おこし協力隊員として来させていただくことが出来ました。上山では獣がこれほど生活の近くに存在している、姿を見ることも全く珍しくもないということに驚いています。また、そんな獣たちと折り合いをつけながらこれまでこの土地で生活されてきた地域の方々や狩猟を通して少しでも力になることが出来ればという思いが、日に日に強くなっていきます。現在は通いで来ておりますが、空にお家が借りられることになり、移住のために地域の掃除・改修に取り組んでおります。地域の皆様と共に上山地区に暮らす中で地域のこと、棚田のこと、そして自分が挑戦したい狩猟のこと、それぞれに取り組めるようになることを楽しみに頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

蟻正敏雅 (ありまさとしまさ)

今年の4月から上山に来ました、アリマサトシマサと申します。漢字で蟻正敏雅です。どうぞ宜しくお願いします。生まれも育ちも岡山県瀬戸内市邑久町で、結婚を機に岡山市で暮らしていました。その後2年程、単身赴任で岡山を離れ東京に住み、人混みにまみれ、大量の排気ガスを吸い、せかせかと過ごしていました。前職を退職した時に、次の活動場所として農のある暮らしが出来る場所を色々検討していた中で上山集楽に出会いました。それが昨年10月の稲刈りの頃。初めて訪れた上山では棚田と一緒に稲刈りをして、夜を共にし2泊3日を過ごしました。特別すごい出来事があった訳じゃないけど、誰かの何気ない一言や、全体的な空気感など、心を撫でる様な魅力を感じ気が付けば上山に住人になつていました。これから何が起るのか、自分は何をするのか、楽しみながら頑張ります。